

「過去のコメントへの対応状況」のうち、  
保管管理計画等に関するコメント回答について

2023年2月20日

---

**TEPCO**

東京電力ホールディングス株式会社

「過去のコメントへの対応状況」のうち、保管管理計画等に関するコメント回答について

分類	コメント内容	状況	資料参考ページ※
廃棄物の保管管理	燃料デブリ、水処理二次廃棄物などインベントリが高い廃棄物の保管管理計画についても今後示すこと。 (第83回、第99回)	燃料デブリについては、燃料デブリ取り出し準備工事等に伴い発生する廃棄物量について、設備等の解体における現時点での概算物量を試算済。 水処理二次廃棄物については、今後処理が必要となる汚染水量から想定される水処理設備の運転計画から、吸着塔類の発生量を予測済。 なお、今後の廃炉作業の進捗状況や計画等により変動するものであり、適宜保管管理計画を更新していく。	P15 P20
	屋外保管しているものの管理適正化に向けた工程表について、2028年度屋外保管の解消という目標があるので屋内保管まで含めた具体的な工程を示すこと。 (第97回)	保管管理計画-別添4（福島第一原子力発電所の固体廃棄物の保管イメージ）の通り。	P36
増設雑固体廃棄物焼却設備の運転状況	溶接部の亀裂等のトラブルの要因並びに運転停止期間及び運転停止に伴う廃棄物管理の全体計画に与える影響などを示すこと、他への展開を行うこと。 (第101回、第103回)	増設雑固体廃棄物焼却設備は10月に運転再開。本設備にて伐採木の焼却処理を行っていき、処理期間には余裕があり、現時点では影響はないと評価。 増設雑固体廃棄物焼却設備の溶接部亀裂等のトラブルに関する対応については、廃炉事業を着実に進める上で、一歩踏み込んで受注者の品質管理を確認するという観点で、新たに業務プロセス強化を図る。具体的には、リファレンス・プラント（1F設計の前提となる一般産業界等での実績）からの変更点を抽出し、変更内容に応じた受注者の品質管理計画および実施状況を確認するという業務プロセスの強化を検討中。	P13
固形状の放射性物質の区分等	現行の固体廃棄物の保管管理計画に入っていないものについて、全体像を明らかにするとともに、今後、その保管・管理方法の検討を進めること。 (第99回、第100回)	今後の廃炉作業の進捗状況や瓦礫等発生量の将来予測の見直し等を、適宜反映していく。また、これまで表面線量率を指標とした区分による管理をしてきたが、今後は廃棄物毎の分析により放射能濃度の把握を行い、特徴を踏まえて合理性を考慮した新しい管理区分を設定し、保管・管理方法を検討する。	P21